



「初志貫徹」 目標の達成を目指してがんばろう

4月28日(土)の生徒朝会で、生徒会長のSさんが全校生徒に向けて、1学期の「期別目標」として『初志貫徹(しょしかんてつ)』という言葉の紹介がありました。

『新明解四字熟語辞典』によれば、「初志貫徹」が次のように説明されています。

「初志貫徹」……はじめに心に決めた志(こころざし)を最後まで貫き通すこと

今年度も2ヶ月が過ぎようとしており、5月21日現在では、生徒は「佐中サーキット」(生徒全員で取り組む体力づくり)に4回取り組み、「SQ(ササキクイズ)」(授業で学習した内容の理解度を確認する基礎テスト)も3回チャレンジし、本年度のWeb診断の第一回でも好成績を収めました。これからは、来月6日には市内総体が開催され、18日には定期テストが予定されています。一人一人が、今年度当初に心に定めた「目標」をいつも胸に置き、「学習面」「生活面」「部活動(あるいは校外活動)面」の3つの面で、自分の掲げた目標の達成を目指して毎日の努力を重ね続けてほしいです。



5月11日(金)に行われた「ウォークラリー」は、快晴に恵まれました。周囲の激励に元気をもらい、PTAのみなさんからの交通安全指導に助けられながら、生徒一人一人がゴールを目指して歩きました。初めて参加した1年生は、バスから降りた時点で「ここから学校まで歩いて戻ることができるかなあ」と不安な気持ちを抱きました。2回目のチャレンジの2年生は、中学校生活1年間で心身を鍛えてきた成果が表れ、前年よりも楽しく、思い通りのペースで歩いていたようです。最後のチャレンジとなった3年生は、「今回は最後のウォークラリーと思うとさみしい」という気持ちと「ウォークラリーを歩き切れたことを自信に変えて、これからの一つ一つの最後の中学校行事にもがんばりたい」という気持ちを抱いていたようです。

ウォークラリーは、黙々と歩を進めるなかで、自分の「初志」を再確認することができ、その「貫徹」を新たに心に誓うことのできる大切な行事でもあります。

江戸時代に日本地図を初めて完成した伊能忠敬(いのう たただか)は、56歳の時に日本地図を作るための旅をスタートしました。伊能忠敬の日本地図作成の旅は、72歳までの17年間にもわたりました。彼が歩いた距離は約3万5千キロ(およそ地球1周分)、彼の歩いた歩数は約4千万歩にも及ぶそうです。「歩く」という手段が、誰にとっても当たり前の移動手段であった江戸時代でも、伊能忠敬のこの4千万歩を重ねての日本地図完成は、21世紀の現在にあっても偉大な歴史的事実として知られています。伊能の長い旅の中では、時には辛く苦しい一歩もあったはずですが、彼が、旅の初めに抱いた「日本地図を作りたい」という初志は、彼自身の強い意志と周囲の支えによって、最後まで貫き通すことができたのです。

まもなく6月を迎える今、自分が立てた「初志」を再確認し、その志を貫き通そうとこれまでも努力を重ねていきましょう。

(参考資料: 井上ひさし著「四千万歩の男」)

自然を満喫し、仲間と協力できたウオークラリー

快晴に恵まれた5月11日（金）にウオークラリーを実施しました。多くの保護者のご協力のおかげで、生徒たちも安心して全行程22kmを歩き切ることができました。ゴールを目指して歩みを進める生徒たちも、地域や家族にいつも見守られ、支えられて過ごしていることを実感できた1日となりました。PTA 保体部の皆さま、そしてご協力いただいた皆さま、本当にありがとうございました。

1年 TR

初めて22kmを歩き、とても疲れしました。僕たちの班の目標は、《体力》途中で止まらない、《協力》助け合いながら声をかける、《自然》落ちていたゴミも拾うでした。3つの目標全部、達成できました。コース途中では、保護者の方が車の多く通る所にいてくれたので、安心して歩くことができました。第1チェックポイントに到着する前の休憩場所で、用務手のKさんがギターで歌ってくれました。すごくうれしかったです。ゴールした時にはとても疲れたので、来年は疲れないように、これから体力をつけていきたいです。

1年 ED

僕は班長として、みんなをリードして歩きました。10kmくらい歩くと足の裏が痛くなってきて、T先生に絆創膏をはってもらいました。さらに歩いて行くと、今度は足の爪が痛くなってきて歩きづらくなりました。お昼ご飯を食べると、それまでの疲れがふっとんだみたいで、すっきりしました。しかし、第1チェックポイントからゴールまでの12kmは「無理だろう～」と思ったりしました。予感的中し、足がパンパンになり、歩けないほどでした。ゴールの学校の校門のところでは、みんなでジャンプしてゴールしました。来年は今年よりも早くゴールしたいです。

1年 GS

初めてのウオークラリーでは、道に迷わないで行けるかとても心配でした。前を歩いている人や、地図を見て歩きました。どんどん歩いていくうちに、だんだん疲れてきました。コース途中では、保護者のみなさんや先生が、「頑張れ」や「あとちょっと」などと声をかけてくれたので、頑張ることができました。最後には、グループの人と一緒に走ってゴールしました。楽しかったです。目標時間には間に合いませんでしたが、グループの人とも声をかけ合って、ウオークラリーを楽しむことができたのでよかったです。

1年 YS

初めてのウオークラリーはよく晴れた天気によかったです。前日クラスで作ったてるてるぼうずが役立ったと思います。出発式では、元気よく気合いを入れました。バスを降り、ウオークラリーが始まったとき、ここから佐々木中学校まで歩くことを初めて知り、びっくりしました。少し歩くと、ずっと下の方にきれいな川が見えました。休憩所でギターを弾いている人が用務手のKさんだとは思ってもいなかったので、とてもびっくりしました。最後はみんなで手をつないでゴールで



きました。みんなで完歩できてうれしかったです。
来年も声をかけあって、楽しく歩きたいです。

2年 IK

今年のウオークラリーは、「去年は早すぎたからゆっくり行こう」と話していましたが、結局、サイクリングロードから走り出して、ほとんどゴールまで走ってしまいました。第2チェックポイントの手前で1位の3年生男子が見えました。そして、ついに追いついたら、3年生もたくさん声を出してくれました。



同学年の友達ともたくさん協力することができたし、上級生や下級生とも協力することができました。来年は最高学年になるので、下級生とも協力しながら、自然を感じて完走を目指したいです。

2年 KR

私は去年のウオークラリーに出ることができず、「今年は必ず行くぞ」とずっと楽しみにしていました。22kmという長い距離はやっぱりつらそうだなとか、目標タイムを早めに設定したから走らないといけないかなとか、歩き始める前には不安も大きかったです。私が一番印象に残っているのは、班の人とおしゃべりしたり、励まし合ったりして歩いたことです。一人で歩いていたら途中のどこかで諦めてしまうような長い距離でも、誰かと一緒に話しながら歩くとこんなに楽しくて、頑張れることを改めて知ることができました。色々な発見もでき、よい思い出もできたウオークラリーでした。



2年 SH

去年よりも体力がついたこともあり、楽に完歩することができました。そのため、コース途中で自然も満喫できて、改めて自然の美しさ、温かさを感じることができました。歩きを進めるにつれ、植物の種類も変わり、植物が変わるごとに周りの景色も変わることに気が付くことができました。学年が上がってウオークラリーの新たな素晴らしさを発見できるので、来年は何を見つけられるか楽しみです。班員との協力では、互いに声を掛け合っていました。ですが、疲れている人にはもう少し気を遣ってペースを落としたり、様子をうかがったりできたらよかったなと思いました。相手の立場を思いやり、相手が喜ぶことをすることができる習慣を付けて、いつでもそのような言動ができるようになろうと思いました。



2年 YK

僕が今回のウォークラリーで一番感じたことは、友情です。今回は、Tさんが足をケガしていて途中までしか一緒に歩けませんでした。僕もみんなもTさんのことを応援しながら歩くことができたのでよかったです。Tさんと別れてからは走り始めましたが、走っている途中には風を感じて心地よかったです。Tさんと一緒に最後まで行けなかったのは少し残念でしたが、来年は一緒に歩いて（走って）、今年よりも早くゴールに着きたいです。

3年 TY

3年生にとって最後のウォークラリーだったので、「今年こそは1位になろう」という気持ちで頑張りました。前半飛ばして、単独で1位でしたが、最終的には、3チームが同着で1位でゴールできてよかったです。念願の初めての1位、うれしかったです。途中、Hくんが両足をつって「ウア〜」と叫んだのがとても印象に残りました。フラフラになりましたが、記憶に残るよい1日になりました。これからも1日1日が中学校最後の日なので、大切に過ごしていきたいです。

3年 TR

今年は、女子一位を目指しました。去年は途中で班が分かれて遅れてしまったので、今年がんばろうという気持ちと、また遅れてしまうのではないかと不安な気持ちでいっぱいでした。最初は、歌を歌ったりしてとても明るくいいスタートが切れました。お昼を過ぎた頃からだんだん足の痛みが大きくなってきました。でも、私はあまり疲れを感じていなく、去年よりもきうきうしていたので、みんなを不安にさせないように元気に走ったりもしました。ゴールに近づくとつれて、「がんばろう〜」とか「もう少し」とか声をお互いにかけあい、雰囲気も明るくなっていきました。3年間、女子1位を守ることができてよかったです。今年は、最高に思い出の詰まったウォークラリーになりました。

3年 KS

当日は、前日の雨が嘘のように晴れて、とても良い天気でした。スタートしてすぐにコースとは違う道を歩いてしまい、先生に迷惑をかけてしまいました。進んで行くと、1年前にも通った道や景色があって、歩いていて楽しかったです。今年が3年生にとって最後のウォークラリーだと思えば少し寂しくも感じました。後半は口数も減って、長い直線の道がとてもきつかったです。イオンの向かい側の公園でKさんとT先生が歌を歌ってくれて、元気を取り戻し、無事にゴールすることができました。目標到着時刻より1時間半オーバーしましたが、協力して最後まで歩けた達成感がありました。



自転車の乗り方の実技指導 と 交通安全教室

5月9日(水)の午後、交通安全教室を開催しました。5時間目には1年生を対象とした「自転車教室」、6時間目には全校生徒で「身近な地域の危険な場所と危険への対応の仕方」について話し合いを行いました。

1年 SR 交通安全教室で、事故が起きやすい場所や自転車の正しい乗り方について学びました。これからは、自転車を乗り降りする時に必ず後ろを向いて安全を確認することを心掛けたいです。そして、ヘルメットをしっかり着用し、駐車するときにはカギかけを忘れないようにして、毎日、安心・安全で危険のない登下校をしていきたいです。



1年 SK 交通安全教室の授業で、自転車の安全な乗り方と危険な場所の見つけ方が分かりました。最近、後方の安全を確認することや踏切を渡る時に自転車を降りて、自転車を押して渡ったりしていなかったのが、今度からは心がけたいです。危険な道でも、冷静な判断で危険を素早く察知したいです。

1年 HN 信号のある交差点を渡るときには、安全を確認してから、自転車に乗ったままで渡ってもいいことが分かりました。小学校の時には、自転車から降りて渡るように指導されていたので、その点が新しく学ぶことができました。自転車を利用するときには、前後左右の安全を確認してから乗り降りすること、線路を渡る時には、自転車から降りて急いで渡することに注意していきたいです。



2年 YS 他学年と一緒に話し合いでは、3年生が意見を言いやすい雰囲気をつくってくれていたのが、とても発言しやすくてよかったです。自転車に乗る時には、「危険予測」を心掛けているか、スピードを出しすぎているか、ヘルメットを着用しているか、タイヤに空気がちゃんと入っているかに注意していきたいです。

2年 NR グループのみんなで身近な地域の危険な場所について意見を出し合い、イラストを描いて共通理解しました。交通安全への意識だけでなく、危険性がある場所を発見する力、そして安全確保のために自分が進んで心掛けるという積極的に動く力も高まったと思います。危険が潜んでいる所は、今日教えていただいた所だけではないので、左右の安全確認をきちんと行って登下校します。

3年 IS 普段はあまり交通事故が起こりそうな場所について考えたり、話し合ったりしたことがなかったので、交通安全教室はとてもいい勉強になりました。昼間の時間帯と早朝や夕暮れの時間帯とでは、車の運転手の視界の見え方にも違いがあると聞いたので、日中から夕暮れに変わる時間には特に周囲の安全を確認しながら、前後左右の車の通行に十分注意したいです。

3年 FH 交通安全教室での指導を受けてみて、自分自身の日頃の交通安全の意識に低いところがあることが分かったので、これからは道路には危険がどこにでもあることを認識し、安全を確認していくことを心掛けます。夜道ではライトを点灯し、反射板の付いた自転車を利用します。交差点では左右の安全の目視確認を心掛けます。

専門委員会活動の活性化を目指して

今年度第1回の生徒総会が5月24日（木）に行われます。総会では、今年度の生徒会スローガンが発表され、各専門委員会や部活動の目標や年間計画が提案されます。生徒総会を前に、各専門委員長のみなさんから、今年度の意気込みを聞いてみました。

応援団長 W

僕が今年度取り組んでみたいことが2つあります。1つ目はあいさつの声をもっと元気なことに、もう1つは応援の迫力をもっと上げることです。昨年度を取組を上回る「元気さ」や「迫力」を目指します。今年度も、委員全員が「あいさつ運動」の時間をしっかり守って活動し、元気で活気のみなぎる委員会にしたいです。1年生の委員も決まり、ようやく全学年の応援団がそろいました。登校してくる生徒一人一人に、応援団全員が声を合わせた「おはようございます」というあいさつが生徒玄関に大きく響くようにがんばります。5月には今年度初めての激励会があります。応援団長として自信をもって指示を出していけるように、自分なりに精一杯の声を張り上げていきたいです。全校生徒のみなさんには、激励会で代表選手のみなさんに勇気を届けられるように、全員の心を一つにしての大きな声での応援をお願いします。



保健体育委員長 S

私は、保健体育委員会を全校生徒のお手本になるような元気な委員会にしていきたいです。そのために、まず自分が体調をすぐにこわさないように、生活のリズムを整えていきたいです。そして、一つ一つの行事を最後までしっかりやり遂げられるように全力で取り組んでいきたいです。5月に入ってから、5月11日のウォークラリーに向けて、昼休みにも委員が保健室に集まって、行事当日に生徒に配付する「塩あめ」の袋づくりに取り組んできました。



今年度の保健体育委員会は、「歯の健康」について力を入れていきたいと思います。今まで、保健体育委員会ではメディアについていろいろな取組をしてきました。その成果として、全校生徒のメディア（スマホや携帯電話、テレビなど）との付き合い方がとても良くなりました。しかし、「歯」について意識をしている人はまだ少ないようです。その例として、今回の歯科検診では歯肉炎があると診断された生徒が多かったと聞きました。これからの保健体育委員会の活動の中では、全校生徒に「歯ブラシ」を持ってきてもらうように呼びかけ、給食後にしっかり歯みがきをするように呼びかけをしていきたいです。



広報委員長 Ⅰ

今年度の広報委員会は全校のみなさんに本に触れてもらい、図書室に来てもらうために、毎月の生徒朝会で図書室にある本を紹介していきます。ぜひ紹介した本やその本以外の本も、お昼休みなどに図書室に足を運んで、どんどん手にとって、読んでもらいたいです。放送の活動では、聞き取りやすい声でハキハキと給食の時間の放送をたのしんでもらえるような放送にしていきます。5月～7月には、市内大会、地区大会、県大会の決意放送があるので、しっかりと部長さんたちの決意を聞いてもらいたいです。これからも生徒会や全校のみなさんの役に立てるように広報委員会全員で協力してがんばっていきますので、よろしくお願いします。5月の生徒朝会では、森絵都さんの『カラフル』という本を生徒のみなさんに紹介しました。図書室に2冊入っていますので、ぜひ借りて読んでください。

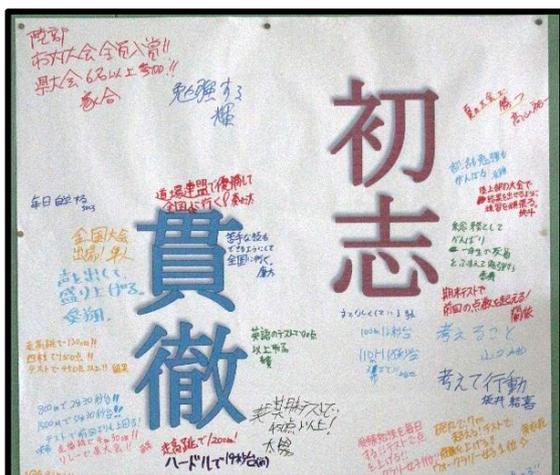


整美ボランティア委員長 Ⅰ

整美ボランティア委員会では、毎朝、委員が当番を決めて、生徒玄関や職員玄関前の花の世話や水やりをしています。来校する方からも、「玄関前の花がきれいですね」とほめていただいていると聞くと、委員会の活動にやりがいを感じるとともに、今まで以上にやる気がわいてきます。僕が委員長として今年度取り組んでみたいことは、毎学期末に行っていた「大そうじ」を本格的にすることです。今までは、一つの場所しかできなかつたので、全校からボランティアを集めるなどして、日頃はそうじが行き届いていない場所の美化に取り組み、学校全体をきれいにしていきたいです。僕は、整美ボランティア委員会を、「自分の仕事に責任をもち、仕事を忘れることなくきちんと活動に取り組む」委員会にしていきたいです。全校生徒へのお願いは、学校をきれいに使ってほしいということです。4月に取り組んだ「緑の募金」では、全校



生徒のみなさんや先生方からも募金してもらい、4,781 円の募金が集まりました。ありがとうございました。



生徒会がいつも生徒玄関脇に年度の各時期にふさわしい目標を掲示しています。

今年度1学期の「期別目標」は「初志貫徹」

大きな「目標」のまわりに、生徒一人一人が自分の「初志」を書き込みました。

○定期テストで前回の点数を超える。○考えて行動する。○県大会出場 など色々な書き込みが見られます。

俳句で詠む「修学旅行の思い出」

4月11日(水)から3日間、3年生が修学旅行に出かけました。訪問先での「商人体験」では、事前に準備していった「佐々木のお米」と「笹だんご」を販売しました。班別自主研修では各グループとも計画通り楽しく行動できたようです。生徒が書いた感想文から、満足感や達成感、そして楽しい思い出をたくさん抱えて帰ってきたことが伝わってきました。修学旅行を題材に創った俳句からも一人一人の生き生きとした姿が鮮やかに浮かんでくるようです。



中学校 バスから見たとき 安心感	「スパシーバ」 ロシア人との 初会話	高台寺 月の光に 照らされて	親友と お土産えらび 値段高!	とてもきれい 池に映った 逆さ金閣!	新潟の おいしいお米 売れたんだ	ほんとにね 楽しすぎて 時間はや	一瞬で 楽しい日々が 過ぎ去った	心の中 楽しみと不安 入り交じる
N A	S K	S R	I A	Y A	N M	M M	I K	K S



3年 SC

修学旅行を通して私が成長できたことは、「考える」というところです。商人体験の事前準備で

は、どういうチラシにしたら良いかとか、どんな風呼びかけたら、周囲の人に興味をもってもらえるかなどを考えたり、時間を守るにはいつどんなことに心掛けるべきかを考えたりしました。班別自主研修でも、思い通りにいかなくて困ったこともありましたが、しっかりと自分たちで考え、まわりに迷惑をかけないように行動することができました。

3年 SY

修学旅行先ではアジア系の人やヨーロッパ系の人を多く見ました。外国の人に英語で「Will you take a picture?」と話しかけました。伝わるかどうか心配でしたが、ちゃんと理解してもらえたので、嬉しかったです。また、たくさんの観光客に対応できるように交通の便が発達していると感じました。修学旅行で学んだことはこれからの英語や社会の勉強で役立つと思います。また、あいさつの声や礼儀も身に付けることができたと思います。残り1年間の中学生生活に生かしていきたいです。

3年 MM

修学旅行で、自分が前よりも成長したな、成長できたなと思える場面がありました。それは、時間を考えて行動できるようになったことです。また、計画どおりに進まなかったときにも、以前なら慌ててしまったところを、慌てずにマップなどを見て対処することができたことです。このクラスで修学旅行に行けることはもうありません。中学卒業後にはクラスメイトとも別れてしまいます。だから、残りの中学生生活を楽しんで、1日1日を大切に過ごしていきたいです。



3年 TR

班別研修では学ぶことがたくさんありました。中でも、建仁寺はたくさんの絵が飾られてあり、絵を描くことが好きな僕にとっては、絵のことをたくさん学ぶことができました。修学旅行では、きまりやマナーを守って行動でき、予定した時間よりも早く行動することができました。これからも修学旅行での体験を大切にして、時計を見て時間通りに行動すること、周りをよく見て行動すること、日々を楽しく過ごすことを心掛けて生活していきたいです。



救急法講習会で救急処置の方法を身に付ける

4月20日（金）に、全校生徒が体育館に集まり、新発田消防署の消防隊員の方から「心肺蘇生法（しんぱいそせいほう）」と「AED（自動体外式除細動器（じどうたいがいしきじょさいどうき））」の使い方を学びました。体験後には、指導いただいた消防隊員のみなさんから、「3年生が下級生をまとめ、リードしながら各グループで学び合う姿が見られました。最上級生の立派なリーダー振りに感動しました。」との感想をいただきました。



1年男子 NK

救急法について教えてもらい、AEDをどんな時に、どうやって使うかがよく分かりました。もし、今回学習したような場面に立ち会ったときには、習ったことを忘れずに、自分からAEDを使えるようにしたいです。来年は、1年生に習ったことを教えたいです。

1年男子 MS

初めて救急法について学びました。最初は、胸骨圧迫などのやり方について説明を聞きました。いざ、自分が実際にやってみる順番になると、とても不安になりました。でも、先輩がやるのを見ていたらだんだんやり方が分かって、安心してきて、最後には自分でもできるようになりました。来年は、1年生にアドバイスができるようになりたいです。

1年女子 KY

AEDは電気ショックを与える機械ということしか知りませんでしたが、実際に使ってみて、いろいろな手順があることが分かりました。心臓マッサージは簡単にできるかと思っていましたが、実際にやってみるとけっこう力が必要なのでビックリしました。

1年女子 KA

今回、初めて救急法を習ったので、なかなか上手くできませんでした。でも、AEDから流れてくる音声を使い方を一つ一つ教えてくれたので、助かりました。いざ、他の人が倒れていたりしていたら、助けることができるように、しっかり覚えておきたいです。

2年女子 GS

胸骨圧迫をする際はかなり力が必要なこと、そして、人工呼吸は空気の通り道をつくるのが大切だということを改めて学ぶことができました。勇気を出して積極的に動き、周囲に声をかけるのを忘れないようにしたいです。もしも、自分が助ける立場になった時には、パニックにならずに、冷静で正確な判断ができるように、今回学んだことを覚えて、積極的に行動できるようにしたいです。

2年女子 WR

両手で相手の胸を圧迫する動作での救急法では、相手の胸のどの位置に手を当てればいいのか分からなくて、あせってしまいました。将来、胸骨圧迫をやらなければならない場面に立ち会ったら、まわりの人の力を借りて頑張りたいです。AEDの使い方も、昨年習ったはずでしたが、1年経って忘れてしまっていたので、今回の講習で思い出すことができ良かったです。

2年男子 SM

1年生の時よりも恥ずかしがらずに、大きな声で呼びかけたり、救助法の訓練をすることができました。実際にこのような場面に出会ったら、自分から率先して呼びかけや救助ができるように、来年の救急法講習もしっかり受け、忘れずに覚えておけるようにしたいです。学校のAEDの器材がある場所もちゃんと確認しておきたいです。

2年男子 YH

今回の講習を受けての反省は、去年も同じ講習を受けたはずなのに、細かな所を忘れてしまっていたこと、そして、恥ずかしがってしまい呼びかけの音が小さくなってしまったことです。この反省をくり返さないように、来年の救急法講習ではもっと頑張りたいです。

3年男子 SR

これまで2回講習を受けてきたので、救急法についてはちゃんと覚えていると思っていましたが、人工呼吸をする時に相手の鼻をつまむことが大事なことを忘れてしまっていて、2回の講習を受けても忘れていたことがたくさんあることに気づき、驚きました。実際に、人が倒れている場面に出会った時に、救急法の大事なポイントを忘れていては困るので、しっかりと覚えておこうと思いました。

3年女子 SR

救急法は人の命を救うために必要な手段なので、忘れずに覚えておけるようにしたいです。もし、私が人工呼吸や心臓マッサージをしなければならぬ状況に立ち会ったとしても、あせらずに落ち着いてできるようにしたいです。自分ができるだけ心肺蘇生法を受けなければならない立場にならないように、日頃から事故などに気を付けて生活したいです。

3年男子 IK

今回で3回目の講習を受け、少し自信ができました。自分が救急措置をする必要のある場面に立ち会ったら、自分が率先して動こうと思いました。自分の力で人の命を救うことができるのなら、怖がらずに頑張りたいです。

3年女子 NA

今年で3回目の講習でしたが、初めて習った時よりも、胸骨圧迫も人工呼吸も大分スムーズに出来たと思います。今回教えていただいた消防士のみなさんは実際の場面で、本当に何度か救急措置を行い、人命を救助したことがあると聞き、救急法はとても大事な手段だと改めて感じました。私もしっかりと覚えておきたいです。

毎年行っているだけあって、学年が上がると、どんどんと自信をもち、落ち着いてできるようになると感じました。また、縦割り班の中で、初めての心肺蘇生法に戸惑う1年生に、やり方を教える上級生の姿はとても立派だと感じました。ゆっくりひとつひとつ確認しながら心肺蘇生を行う1年生も、3年後には頼もしい姿で後輩に教えているのだろうなと思います。生徒の感想にあった「人の命を救うことができるのなら怖がらず頑張りたい」という気持ちを、一人でも多くの生徒に感じてもらえるような救急法講習会を、これからも続けていきたいと思っています。

(養護教諭 T)



スクールカウンセラーさんをご紹介します。

今年度から、スクールカウンセラーの HK さんが佐々木中学校に勤めることとなりました。4月27日（金）のお昼休みに「着任式」を開き、全校生徒が H 先生へ歓迎の気持ちをこめて佐々木中学校校歌を歌い、その後、生徒会長 S さんが歓迎の言葉を伝えました。

着任式当日の6時間目には、各クラスで行われている1年生技術科、2年生家庭科、3年生総合学習の授業を回り、生徒が学習に取り組む様子を参観しました。



佐々木中学校のみなさん、はじめまして。

今年度スクールカウンセラーとして佐々木中学校に勤務することとなりました。着任式では大きな声のあいさつときれいな歌声を聴かせていただき、佐々木中学校はとても良い学校なのだろうなあと感じました。これからどんな生徒さんと出会えるのかとても楽しみになりました。困っていることや悩んでいることがある人はもちろんですが、そうでない人も気軽に声をかけてほしいと思っています。みなさんが充実した中学校生活を送ることができるよう、お手伝いをしていきたいと考えています。一年間どうぞよろしくお願いいたします。

スクールカウンセラーさんの1学期（5月～7月）の来校日

5月	18日（金） 25日（金）	6月	1日（金）、8日（金） 15日（金）、22日（金）	7月	6日（金）、13日（金） 20日（金）
----	------------------	----	------------------------------	----	------------------------

勤務時間は、午後1時～5時です。相談場所は、1階生徒玄関となりの「談話室」です。4月20日付けの文書で、一年間の来校日はお伝えしてあります。保護者の方でスクールカウンセラーとの面談を希望する場合には、あらかじめ学級担任に連絡してください。

ALTのR先生が佐々木中に戻ってきました

平成28年度にALT（英語指導助手）として勤務していたR先生が再び佐々木中学校で勤務することになりました。3年生の皆さんは1年生の時にもR先生から英語を習っていますので、“I'm happy to see you again.”（また会えてうれしい）と声をかけた人もいます。……ALTの自己紹介……



Hello everybody! My name is R and I am the new ALT at Sasaki Junior High School. I come from New Zealand but I have lived in Shibata for a long time. I love Japanese culture, Japanese food (especially salmon sushi) and Japanese people. I am very happy to be teaching the friendly Sasaki students. I'm looking forward to having lots of fun in English class this year

みなさん、こんにちは。私の名前は、R です。佐々木中学校の新しいALTです。出身はニュージーランドですが、もう長い期間、新発田で生活しています。私は日本の文化、日本食（特に鮭のお寿司）、そして日本のみなさんが大好きです。今は、人懐っこい佐々木中の生徒たちに英語を教えていてとても楽しいです。今年1年、英語の授業でたくさん楽しい時間を過ごせることが今からとても楽しみです。